

▽総代会より

1月18日(土)に高槻現代劇場四〇二号室にて島上南組新年五礼会が各寺院から一〇七名が参加して盛大に開かれまし...

▽仏教婦人会・寺族婦人会より

新型コロナウイルスの影響で中止になった組の行事は3月12日の仏教懇親会、5月14日の寺族婦人・各単位会長・仏婦...

▽各寺報恩講日程

Table with 6 columns: 日程, 曜, 寺院名, 地区, 時程, ご講師. Lists various temples and their reporting dates.

*永代経法要

▽往生浄土

久宝寺 熊谷廣眞

自身にとって大切な人や、いつまでもいて欲しい人が亡くなるのは本当に悲しい事です...

9月18日が最後のお稽古となりました。いつものように稽古を終え、次の予約をして寺を後にしました...

世界にはさまざまな宗教があります。多くの宗教は自分の生き方に応じて次の行く先が決まると説きます...



島上南組 だより

浄土真宗本願寺派 2020年(令和2年)7月 第12号 編集・発行 高槻市野田正覚寺内 島上南組実践運動委員会

▽組長ごあいさつ

島上南組組長 本田一成

本年四月から、島上南組組長をさせて頂いていただくことになりました。未熟なゆえに行き届かない点が多々あるかと思ひます...

尾崎貞良前組長様には、在任中「島上南組設立五十周年記念事業」をはじめ、組内諸活動に鋭意取り組まれ、島上南組の護持発展に多大なるご尽力をいただきました...



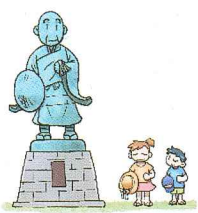
さて、世間では少しずつ以前の生活を取り戻しつつあるものの、未だコロナ禍で大変な状況にあります。本願寺や大阪教区はもとより、組内の法要・行事の殆どが自粛を余儀なくされています...



「マスク不足 子の涙のわけは...」 私が帰宅すると、小三の三男の様子がおかしい。六人家族の我が家では私以外が花粉症で、マスク不足は深刻な問題...

南無阿弥陀仏となえれば

しんらんさまはにこやかに わたしのとなりにいらつしやる

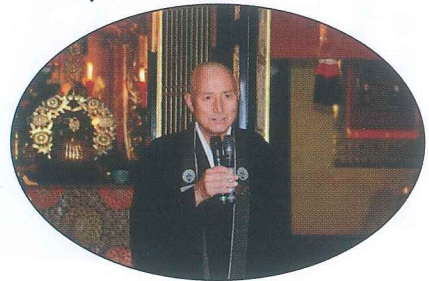


私たちは決して一人ではありません。

合掌

西證寺 尾崎貞良

平成二十四(二〇一二)年度より、島上南組の組長を拝命し、二期八年の任期を終えることができました。振り返れば就任早々、宗派の運動方針が「基幹運動(門信徒会運動・同朋運動)」から「御同朋の社会をめざす運動(実践運動)」に変わり、目に見える具体的な運動を進めるといふ、行動力とアイデアが要求される時代の要請に、混乱と困惑のうちに始まりました。



その後、島上南組五十周年記念式典・記念誌の発行、第二十五代専如門主伝灯奉告法要団体参拝、大阪北部地震、台風二十一号の災害対応等々、色々なことが待ったなしに次々とありました。

しかし、これら全ての組行事については副組長の法善寺住職・辻本昭信様、正覚寺住職・本田一成様、西教寺住職・藤井弦様、西法寺住職・内海知量様の絶大なるご支援を賜り、組内各寺住職様、坊守様、衆徒の皆様のご教示を頂きながら執行することが出来ました。何より、各行事の開催に当り、総代会・仏教婦人会・若婦人会・揚風会の役員様はもとより会員の皆様のご理解とご協力があったればこそ、やり遂げることが出来ました。暖かく見守り、お育て頂きました皆様様に厚く感謝申し上げます。誠に有難うございました。

南無阿弥陀仏

2020(令和二)年度島上南組新役員の皆様

Table listing the new staff members for the 2020 fiscal year, including roles like Group Leader, Deputy Group Leader, Treasurer, and various committee members across different temples.

天川子ども食堂@くれびす倶楽部(その1)

東天川 西法寺 井向晃称

2015年9月の国連サミットで、国連加盟193カ国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた17の目標「SDGs」(Sustainable Development Goals)「持続可能な開発目標」が採択されました。本願寺では「御同朋の社会をめざす運動(実践運動)」において、2018(平成30)年度より「貧困の克服に向むて」Dana(ダーナ)for(フォー)World(ワールド)Peace(ピース)「子どもたちを育はぐくむために」が定められ、各教区・組・寺院で、様々な取り組みが行われております。



「子どもたちを育はぐくむために」が定められ、各教区・組・寺院で、様々な取り組みが行われております。では当寺で「どのようなことが取り組めるか?」と考えていたところ、ボランティア団体のあい路さんから家庭・学校に次ぐ第三の居場所として、「ホッとできる空間、自然と笑顔になれる時間、心も体も健やかに育む、そんな世代を超えた繋がり合いができる場所を作りたい」とお話があり、役所・社協・保健所の許可を得て、「天川子ども食堂」を2019年7月に開設し、ボランティアさんよりSDGsについてお話しいただき、以後月に一度(第4金曜)開催しております。子ども食堂開催日午後5時頃から子ども達が来寺し、宿題を済ませた子達から、カレー屋さんと一緒に月替わりのカレーを作る子、子ども同士で遊ぶ子、読書をする子:各々で約一時間過ぎ、参加者全員で既製のルーは使用せずにスパイスから作った熱々の本格スパイスカレーをいただき、7時頃散会となります。



開設から半年経ち、持ち帰り用のスイーツを提供くださるカフェ、食材を提供くださる有縁の皆さん、支援の輪が少しずつ広がり、運営も落ち着いてきた時、新型コロナウイルス拡大防止により3月から休止を余儀なくされました。本来でしたら「このような時だからこそ、子ども食堂を開かないと...」ボランティアさんと話し合っていく中、「寺院で集うことはできないけれど、子ども達へ無料でカレーを提供しよう」ということになり、休校で給食がなくなり行き場を失った食材を使用して3月、5月は月2回、6月は3日から15日にかけて1回あたりカレー20食、50食(6月分は一食百円)を提供させて頂きました。この取組はケーブルテレビ・読売新聞・大阪日日新聞で取り上げて下さいました。現在は、子ども食堂再開を目指し準備を始めています。



各家庭様々な事情で不安と淋しさの中、家で一人でご飯を食べて親の帰りを待つ子ども達が、二十代、三十代となり、そんな経験をしながら時代を振り返り、あの時大人と一緒にいることができる安心の場所があったらよかったです。あの時誰かと一緒にご飯を食べられたら安心できたのに...、体験したからこそわかるしみじみと湧いてくる人の温もりの渴望感、大人になり、今度は淋しさを抱えている今の子ども達へ、温もりを届けたいと始まったのが、子ども食堂といわれています。地域住民が世代を超えて交流し、地域という温もりのある心の布団の中で育てられる子ども達、昭和から平成、平成から令和へと、時代の流れによって希薄になってきた世代を超えた地域の繋がり「地縁」が子ども食堂にはあるのではないのでしょうか。

近年SNS全盛の時代で、青少年の事件が多発していますが、子ども食堂での世代を超えた縁から、一人ひとり顔が見える温もりのある輪の中で、「おはよう!」「こんにちは!」「人と人の交わす何気ない一言が、地域の見守り・安全の効果をもたらすことでしょう。継続は大変ですが、ボランティアさんをはじめ有縁の皆さんとともに、「あなた」に「出遇う」ことを楽しみながら、取り組んでいきたいと思えます。